



薬局通信 第105号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規患者限定医薬品
①ブコラム口腔用液 2.5mg・5mg・7.5mg・10mg ②ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg	①メラトベル顆粒小児用 0.2% ②ビムパット点滴静注 100mg ③フィコンパ細粒 1%	①ノクサフィル点滴静注 300mg ②ノクサフィル錠 100mg ③イーフェンバツカル錠 100 μ g・200 μ g ④デュロテップ MT パッチ 12.6mg・16.8mg ⑤ベンテイビス吸入液 10 μ g
新規院外専用医薬品	採用中止医薬品	
①人参湯 ②コンベッククリーム 5% ③ヒューマログ注ミリオペン HD ④フルティフォーム 50 エアゾール 120 吸入用 ⑤ドボベツト軟膏 ⑥マーデュオックス軟膏 ⑦ベンダザック軟膏 3%「イワキ」 ⑧ピラノア錠 20mg ⑨スピラマイシン錠 150 万単位「サノフィ」 ⑩エンレスト錠 50mg・100mg・200mg ⑪クラシエ十味敗毒湯エキス錠 ⑫フィアスブ注ペンフィル	【供給停止・販売停止】 ①ゾルピデム酒石酸塩 OD 錠 10mg「KN」 ②バルプロ酸ナトリウム細粒 40%「EMEC」 ③برانلカスト DS10%「EK」 ④ビクロックス点滴静注 125mg・250mg 【後発医薬品へ切替】 ①ジャドニユ顆粒分包 90mg	

採用薬品の処方開始は、原則として **2020年3月8日(月)** からなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

・販売中止などにより変更した医薬品

No	院内採用削除薬	理由	当院採用薬での代替薬など
1	ゾルピデム酒石酸塩 OD 錠 10mg 「KN」	出荷停止	ゾルピデム酒石酸塩 OD 錠 10mg 「ザリ」
2	バルプロ酸ナトリウム細粒 40% 「EMEC」		デパケン細粒 40%
3	برانلカスト DS10% 「EK」		برانلカスト DS10% 「杏林」
4	ピクロックス点滴静注 125mg・250mg		アシクロビル点滴静注液 250mg 「ト-ワ」
5	ジャドニュー顆粒分包 90mg	後発品切替	デフェラシロクス顆粒分包 90mg 「ザド」

新規試用医薬品

① ブコラム口腔用液 2.5mg・5mg・7.5mg・10mg

向精神薬（第三種向精神薬）・習慣性医薬品・処方箋医薬品

（武田薬品工業株式会社）抗けいれん剤

一般名：ミダゾラム

採用理由

けいれん重積時に使用するため。

効能効果

てんかん重積状態

用法用量

通常、修正在胎 52 週（在胎週数＋出生後週数）以上 1 歳未満の患者には、ミダゾラムとして 1 回 2.5mg、1 歳以上 5 歳未満の患者には、ミダゾラムとして 1 回 5mg、5 歳以上 10 歳未満の患者には、ミダゾラムとして 1 回 7.5mg、10 歳以上 18 歳未満の患者には、ミダゾラムとして 1 回 10mg を頬粘膜投与する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：全規格 新医薬品のため 14 日（2021/12/01（予定）まで）

薬価：2.5mg 1,125.⁸⁰円/筒、5mg 1,977.⁸⁰円/筒、7.5mg 2,750 円/筒、10mg 3,474.⁶⁰円/筒

② ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg 処方箋医薬品

（アストラゼネカ株式会社）プロトンポンプ・インヒビター

一般名：エソメプラゾールマグネシウム水和物

採用理由

院内での使用は脱カプセルを行い、再分包する 경우가多く、本剤の方が適しているため。

効能効果

- 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Zollinger-Ellison 症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制
- 下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎慢性心不全（軽症～中等症）

用法用量

①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群

成人

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。
なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。

小児

通常、1 歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重 20kg 未満では 1 回 10mg を、体重 20kg 以上では症状に応じて 1 回 10～20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。

②逆流性食道炎

成人

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。
なお、通常、8 週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1 回 10～20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。

小児

通常、1 歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重 20kg 未満では 1 回 10mg を、体重 20kg 以上では症状に応じて 1 回 10～20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、8 週間までの投与とする。

③非びらん性胃食道逆流症

成人

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 10mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、4 週間までの投与とする。

小児

通常、1 歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、1 回 10mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、4 週間までの投与とする。

④非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。

⑤低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を用時水で懸濁して 1 日 1 回経口投与する。

⑥ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として 1 回 750mg（カ缶）及びクラリスロマイシンとして 1 回 200mg（カ缶）の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、

1回 400mg（カ価）1日2回を上限とする。

プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの3剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして1回 20mg を用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として1回 750mg（カ価）及びメトロニダゾールとして1回 250mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：76.⁹⁰円/包